

第39回法人会全国青年の集い山梨大会に参加して

青年部会長 井内 高志

2025年11月20日(木)～21日(金)に山梨県甲府市にて「第39回法人会全国青年の集い山梨大会」が開催され、大会スローガン「人は石垣 人は城」～光り輝く未来の為に～のもと、全国から約1,900名の青年部員が集まりました。阿波麻植法人会青年部からは、私と藤田副部会長、多田副部会長の3名が参加しました。

大会1日目は、全国各地を代表し青年部会11単会による「租税教育活動プレゼンテーション」並びに、現在法人会全体で取り組んでいる健康経営についての「健康経営大賞」の発表がありました。どの発表も素晴らしい内容で、特に印象に残ったのは同じ徳島の脇町法人会の皆さんのが発表された、子供たちに税を通じて、自分たちの住む町の将来を考え想像してもらう租税教育活動が素晴らしいと思いました。

日頃より阿波麻植法人会青年部でも阿波市、吉野川市の小学校は主に6年生、中学校は3年生に税の大切さを伝える租税教育活動を行っています。この活動も10年余りが過ぎ、対象の子供たちは毎年変わりますが、我々講師の指導内容はマンネリ化してきている感が有りました。そんな折大会の中で、現在指導の教材として使用しているDVDが来年全面リニューアルされるとの事で発表が有りました。これを機に我々の指導内容もより子供たちに良いものを届けられるように、青年部で考えていきたいと思います。

大会2日目は、部会長となり初めての部会長サミットに出席しました。このサミットでは、全国の約480名の部会長が一堂に会し、青年部活動の両輪である「租税教育活動」と「法人会版健康経営プロジェクト」の両活動について、取り組むに至った背景や経緯を改めて考えると共に、各青年部会が取り組んでいる活動事例を共有し、より積極的な活動を展開することで、会全体の活性化に繋げていく内容でした。

その後行われた記念講演会では「プロヴィンチア（地方クラブ）の挑戦」～フットボールクラブの枠を超えた存在と役割～と題し、サッカーJ2「ヴァンフォーレ甲府」の（株）ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ 代表取締役社長 佐久間 悟氏の講演が有りました。人と人、企業と地域をつなぎ、健康を軸に持続可能な社会を築く取り組みは、あらゆる業界にも応用が可能で、経営者・組織リーダーにとって、実践的かつ共感を呼ぶヒントが有り素晴らしい講演でした。

大会式典では、1日目の租税教育活動プレゼンテーション、健康経営大賞の結果発表、部員増強運動に対する表彰式などが行われ、次回開催となる島根県から、節目の第40回「法人会全国青年の集い」島根大会のPRが有りました。

今回の大会に参加し、大会スローガンにもあるように、山梨県の戦国武将「武田信玄」が残した言葉「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」名峰富士のもと、全国から集う仲間が「絆」と「助け合い」の心で、各単位法人会・県連に法人会活動の城を築き、全国の法人会の活動が輝くことで、地域や国の将来を担う子供たちの光り輝く未来につながる大会になる様にとの、大会に込めた思いが見える素晴らしい大会でした。最後に、令和9年度第41回「法人会全国青年の集い」は徳島大会が予定されており、今度は全国の青年部の皆さんを徳島県でお出迎えする事となります。皆さんの中に残る大会に出来るようにしっかりと準備していきたいと思います。